

行政視察報告書

松本市議会

会派 誠の会

視察日 平成29年6月28日
視察先 京都国立博物館
視察目的 1、 博物館の運営維持管理について
1、 地方博物館の活性化策について

◎ 京都国立博物館の沿革

明治22年 宮内庁所管「帝国京都博物館」として設置
明治30年 開館
明治33年 「京都皇室博物館」と改称
大正13年 京都市に下賜し「恩賜京都博物館」と改称
昭和27年 国に移管「京都国立博物館」と改称
昭和43年 文化庁の附属機関となる
平成19年 独立行政法人 国立文化財機構 京都博物館となる

- * 国立文化財機構は国立博物館4つ「東京国立博物館・京都国立博物館・奈良国立博物館・九州国立博物館」ほか、2つの文化財研究所、1か所のセンターを運営
- * 京都国立博物館は、京都に都が置かれた平安時代から、江戸時代の京都文化を中心に、文化財の収集、保存、管理、展示、調査研究、教育普及事業等を行っている。

* 事業内容

- 1 有形文化財の保存と継承、有形文化財を活用した、歴史、伝統文化の発信
 - (1) 有形文化財の収集、保管、次世代への継承
 - (2) 展覧事業
 - (3) 教育普及活動事業
 - (4) 有形文化財の収集、保管、展覧事業
 - (5) 教育普及活動等に関する調査研究
 - (6) 国内外の博物館活動への寄与
- 2 文化財及び海外の文化遺産の保護に貢献する調査研究、協力事業の実施
 - (1) 新たな知見の開拓につながる基礎的、探求的な調査研究
 - (2) 科学技術を応用した研究開発進展等に向けた基礎的研究
 - (3) 文化遺産保護に関する国際協働
 - (4) 文化財に関する情報資料の収集、整備及び調査研究の公開、活用
 - (5) 地方公共団体等を対象とする文化財に関する研修及び協力等

* 施設概要

旧京都国立博物館は、昭和44年国の重要文化財指定の建築物で、今後200億

円を投じ、免震工事が行われる。平成26年隣接の展示館をリニューアルし「平成知新館」としてオープン（改修工事費、195億円）

★ 土地面積 53,182㎡、 建築面積 13,517㎡、
収蔵面積 31,828㎡、

★ 平成27年度入館者数 653,336人（中学生以下無料、入館者累計に含む）

* 運営、維持管理

職員数 36名 年間予算収支 約10億円（内 自己収入 約2割）

収入不足額は、運営交付金を充当

* 地方博物館としての活性化策

(1) 年間パスポートの発行（一般3,100 学生2,100）

(2) 博物館に関心、協力する会員募集、（年会費）普通会员2万円、特別会員5万円、賛助会員10万円

ほか、地域連携、教育普及、調査研究、国際交流、文化財保護、グッズ販売、ビジターセンターの設置等。

- ◎ 京都は、平安遷都以降、明治維新に至るまで、天皇を抱く皇室の都で栄えていました。この1200年に余る永きに栄えた、都としての文化の証として、様々な文化財を中心とし、日本の伝統文化を世界に発信すべく活動を続けてまいりました。今後も「日本の伝統文化を世界へ」を大きな目標としています。そのため、あらゆる人々に関心を持っていただき、博物館に足を運んでいただくよう、心掛けておりました。人に優しい博物館であると同時に、地域に根差した博物館、また、教育の場であり、癒しの空間であり、生涯学習の提供の場であり、更には国内外からの観光の拠点として取り組まれておりました。